



地域医療連携通信



2013 (平成25年) 1月号 (第75号)

上天草総合病院 理念
信頼される地域医療

基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

TEL・FAX : 0969-62-1547 (直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122 (代) FAX: 0969-62-1546

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠

力がわく1年になりますように

病院長 坂本 興美



わたしは病院の6階が好きです。そこから不知火海とその向こうの山々が一番大きく見えるからです。しかもその大きさは天候によって変わります。陽があたる芦北の山々がすぐ近くに見えることがあれば逆にうんと遠くにかすんで見えることもあります。その違いをまえにすると不思議な気持ちになります。

そしてもうひとつわたしが好きな理由があります。目線をしたに向けると岸辺に沿って家屋が並んでいます。そしてよく見ると人や車に自転車も動いています。人家にまじって工場やお店屋さんも見えます。受診される患者さんのお宅はあのあたりかしらと探すこともあります。ご近所のみなさんの暮らしをうかがえるのがうれしいです。

というのもわたしはかつて、海外で海底ケーブルを敷設する大型船に乗って船医の仕事をしたことがあります。そこではまわりがすべて海のなかで一日の時間が過ぎました。もちろん船では作業する人々の毎日はあります。しかし、まわりが海ばかりの景色のなかには地元のひとの暮らしが見えません。それは物足りない、の一言につきました。数日後ようやく岸に近づき人々の姿が目に入ります。すると人々の着ているシャツの色から乗っている小舟の舳の飾りまで、すべて新鮮でした。景色はそこに暮らす人の姿が見えてこそ価値があるとそのとき思いました。

ところで、6階からの景色に病院前へ至る新しいトンネルが加わりました。昨年12月に開通したバイパスを抜けゆっくり下ってくる車の流れがみえます。地元の人々には待たれていた工事の完成です。実際に自分でこのバイパスを通ると新鮮でした。バイパスはトンネルをつかって旧道よりも山側につくられています。するとこれまでみていた景色とは高さが異なり、

違ったものがみえます。例えば同じように見えた港に泊まっている漁船に少しずつ違いがあるとか、家屋にはそれぞれ海がみえるように工夫して窓がきつてあるとか、山沿いにここまで畑が開いてあるとか。新しい道ができたことでこれまで知らなかった地元の様子を発見しました。

病院も同じでしょう。病院では昨年からの工事が続いています。内視鏡超音波検査室と人工腎臓透析室の改修工事や空調の入れ替え工事です。電子カルテの導入も準備にとりかかりました。病院がかわっていくことで患者さんや地元の方々に新しい病院を知っていただく機会がうまれることを楽しみにしています。

さて新年にさっそくみんなで取り組むのは、2月の上天草総合病院学会です。昨年の学会の内容は病院のホームページに載せました。特別講演に天草ビジターセンター所長 山川清英先生から紹介していただいたハクセンシオマネキの生態が衝撃的でした。なぜオスは大きなはさみを持つしかもたないのか。なぜメスは一つしかはさみのないオスを結婚相手に選ぶのか。そのわけは、自分を守ってくれるのがはさみを持つしかもたないオスであることを、メスが知っているから。つまり、はさみが一つしかないオスはかつて自ら一方のはさみを切り落としています。そのオスは天敵の鳥に襲われたとき、残った大きなはさみを自ら跳ね飛ばすことで鳥の目をあざむき、メスをまもることができる。そのことをメスが知っているからだ。さあ今年の上天草総合病院学会が楽しみです。

そしてもうひとつ、3月には医師会の先生方とともに天草パールラインマラソンに参加したいとおもいます。例年スタート前の健康相談で各地から参加される方々の意気込みをうかがうのが興味深いです。そのあとは自分の力にあわせた距離をスタッフと一緒に走るのがうれしいです。

なんだか力がわいてくる1年になりそうです。

地域に支えられて ～心温まる贈りもの～

3病棟師長

堀川 志美子

最近、3病棟の尿カテーテルを留置している患者さんの尿バックのカバーがとてもおしゃれなので紹介します。3病棟に入院中の患者さんの奥様とその妹さんの作品です。

奥様がお見舞いに来られたときに既存のバックカバーをご覧になり私も作れるかもと密かに寸法を測り、作ってくださったものです。「お世話なっているので何かできないかなあ」と思っていたことでした。その奥様は面会の度に地域（大矢野町）の方々が作った新聞紙のごみ袋をたくさん持ってきてくださいます。

「病院まではボランティアに行けないけど・・・」と近所の方々が新聞を折ってくださるのだそうです。目に見えない場所で上天草総合病院のことを思い活動してくださっている方々がおられる事を思うと、地域に支えられている病院であることを強く感じます。感謝！



冬のクリーン作戦奮闘記

12月8日（土）8時～10時までの2時間病院棟全館の清掃作業を行いました。

当日は、あいにくの天候で小雨が降る寒いなかでの作業となりましたが、119名の職員が慣れない手つきで額に汗し奮闘しました。

男性陣は、1階から6階までの窓ガラス清掃に従事し、女性陣は、各階のブラインド清掃を行いました。窓ガラス清掃については、重装備に身を包み長靴をはき、ホース片手に奮闘しました。

文明の力である高压洗浄器も大いに活躍しました。窓ガラス、ブラインド清掃後は、窓もきれいになり入院患者の方達も窓から見える景色の美しさに「いつも見ている同じ景色だが改めて癒されます」とうれしい言葉もいただきました。

最後に病院の顔である表玄関の窓ガラス、天井ガラスの清掃を行いました。

新たな年を迎えるにあたり患者様、病院ご利用のお客様をきれいな顔、きれいな表玄関でお迎えいたします。

事務次長 尾崎 忠男

「あこう」復活

地域連携室通信の名前が「あこう」に決まりました。

実は、平成8年（1996年）7月に病院を受診される患者さま向けに、情報発信の手段として新聞「あこう」を創刊しました。その当時の

コメディカル部長を中心に、コメディカルの5～6人のメンバーで立ち上げ、原稿依頼から編集まで独自で行ない発行していました。約10年間続けてきましたが、4町合併後、上天草市の広報誌に病院の情報ページが設けられた事で、あこうの役割を市の広報誌に移行しました。

今回、地域医療連携室通信の名前を募集し、委員会を検討した結果「あこう」という名前に賛成多数で決定しました。

「あこう」という名前の由来は、あこうの木のことです。成長が早くしっかりと根をおろし、枝葉は真夏の暑さを遮り、すずしげな木陰をつくってくれます。何かしら包容力を感じさせる木です。地域に密着した思いやりのある医療を志すものの真髄をこの木に見出し「あこう」という名前になったという経緯があります。

それを引継ぎ、地域医療連携室通信「あこう」が病院の情報発信源として少しでもお役に立てればと思います。是非これからもご一読ください。

総務課長 森 千壽



がんサロンお料理会



昨年大好評だったお料理会を12月22日（土）午前9時から保健センター2階調理室にて今年も行いました。今回のテーマは「おせち&クリスマス料理」。料理の達人であるメンバーを中心に早速下ごしらえに取りかかります。坂本院長も割烹着で参加して下さり、初めての辛子レンコン・伊達巻き作りに精をだされ、笑いとお話しながら、素晴らしいご馳走が完成しました。



メニューですが「伊達巻き、辛子レンコン、ソーセージ、南瓜コロッケ、鶏肉の塩麹焼き、手羽先揚げ、餃子、人参スープ、炊き込みご飯、ケーキ」に、飛び入り参加の方より「手作りの干し柿、リンゴ」の差し入れもあり大満足。本日仕事で参加できなかった方にも昼食のお弁当を用意し、それでも食べきれないので、おみやげのオードブルを人数分作って持ち帰りました。片付けの後にはレシピを皆さんしっかり撮影されていました。

後日、「出来上がった料理の数々...メチャメチャお腹いっぱいになりました(^_^)!! 楽しく美味しいお料理会&クリスマス会が出来て嬉しくなりました(*^_^*)」とのメールもいただきました。

上天草がんサロン 「アクアマリン」世話人



次回のがんサロンは
1月25日(金)です。



お知らせ

研修会・勉強会の行事予定表

1月8日（火）	マザークラス お産の経過と呼吸法について	13:30～ 当院6階講堂
1月10日（木）	院長講話	12:30～ 当院6階講堂
1月11日（金）	糖尿病教室	13:15～ 当院6階講堂
1月18日（金）	心臓リハビリテーション教室 「動脈硬化について」 循環器内科部長 脇田 富雄 先生	13:30～ 当院6階講堂
1月24日（木）	看護助手勉強会	12:30～ 当院6階講堂
1月25日（金）	がんサロン	13:30～ 当院6階講堂

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については『地域医療連携室：TEL0969-62-1547』までお問い合わせ下さい。

編集後記

○皆様、あけましておめでとうございます。

今年もまた、よろしくご指導の程、お願い致します。

これまで地域医療連携室通信として発行しておりましたが、今月号から「あこう」の名でお届けすることになりました。しっかりと根を張ったこの木の如く、地域に密着した広報誌として更に親しんで頂ければと考えております。

（福田）

○新年あけましておめでとうございます。1年の計は元旦にありといいますが、今年こそは目標をたてて取り組むぞと意気込んでみたものの、“なるようになるさ”といつもの調子。力まないことも大事だよねと自分に言い聞かせて、今年もポジティブにいきたいと思います。（森口る）

1月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 〔代謝内科 消化器内科 呼吸器内科〕 新患担当	樋口 坂本 和田 城臺	大村 和田 山城 城臺	坂本 大村 石田 和田(～10時) 志摩(10時～)	樋口 和田 山城 石田	坂本 山城 城臺 応援医師	
循環器内科	脇田	脇田	脇田	脇田	脇田	
※ペースメーカー外来は(3、6、9、12月)に行います。						
小児科	田原	田原	田原	田原	田原	
外科・肛門外科 消化器外科	福田	城野	福田／蓮尾	城野	蓮尾	
整形外科	藤松	上原	藤松	胤末(午後)	藤松	
※毎週月・水・金の診療開始時間は8:30からとなります。 ※毎週木曜日(予約制)は午後2時から午後5時まで診察を行います。						
産婦人科	姫野	黒田	姫野	姫野	姫野	
※黒田医師は女性医師です。但し、黒田医師は12月5日(水)までです。						
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	25日
眼科	竹下	竹下	—	竹下	竹下	25日
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
皮膚科	—	—	—	尹	—	24日
泌尿器科	—	小川	—	—	—	
胃腸センター	蓮尾 城野 石田	福田 蓮尾	城野 和田 石田	坂本 福田 蓮尾	福田 城野 石田	
歯科・口腔外科	福田	福田	福田	福田	福田	
※午後は、1時～4時30分まで受け付けます。						

教良木診療所 応援	大村	坂本	樋口	応援	樋口
御所浦診療所 応援	山城 (第2・4午前)	— —	竹下(午前)	—	—
御所浦北診療所 応援	—	—	—	城臺(午後)	—

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分まで行います。

※眼科は、毎週水曜日は休診になります。

※歯科口腔外科は月～金の午後も診療を行います。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制です)

※内科は、火・木の午後5時～午後6時まで診療を行います。

※木曜日の内科山城医師の外来は午前と午後3時～午後6時まで診療を行います。